



第15号



くっきんぐぴかり  
もちつき (テラスで晩ごはん)

バーベキュー

屋上プール

# 平成24年度 余暇活動支援事業

～どきどき・わくわく・楽しい思い出～

ピザ作り

Let's ボウリング!

クリスマスイルミネーション

みなとみらいでカレーを食べよう



平成24年度の余暇活動支援事業は、計28回、延べ111名の方にご参加いただきました。  
ほとんどの回で定員を上回るお申込みをいただき、抽選倍率が2倍以上になる回もありました。  
どきどき・わくわく、みんなで過ごす楽しみも2倍！  
ご参加いただいた皆さん、協力いただいたボランティアさん、本当にありがとうございました。  
またお会いできる事を楽しみにしています♪

地域交流事業  
 ～写真で振り返る一年間～



今年度のプログラムの中から一部抜粋してご紹介☆  
 『タオルケーキを作ろう』では、お父様へのプレゼントをお母様とお子様協力して製作♪『3B体操』では親子でのびのびと身体を動かす姿が印象的でした。  
 『冬フェス』では、地域の方々や近隣施設の方々にご協力をいただき、手話ダンスや太鼓演奏などで大盛り上がり♪皆様の笑顔に出会えるプログラムを、今後もお楽しみに★



リレーコラム その22

私の宝物 野口 恵子

私が8歳の頃、姉が突然“おばあちゃんの誕生日プレゼント”と称して文鳥を二羽買ってきました。しかも文鳥たちはまだ雛で、餌あげもアワダマをお湯でふやかし、スポットで定期的にあげなければならないという状態でした。言うまでも無く、鳥の飼い方など皆無だった私は“おばあちゃんへのプレゼントならいいか”と安易に考え、姉の突飛な行動を黙認していたところ、祖母は「自分で飼いなさい」と一言。

結局姉だけでなく、私も巻き添えになりながら文鳥を飼うことになったのです。

あれから、長い年月が経ちました。当時飼っていた二羽は、もう随分前に亡くなっています。けれど我が家では常に鳥の音が響き渡っています。初めて文鳥を飼った日から、一度も鳥を絶やしたことがないからです。多いときにはインコを二羽、文鳥を四羽飼っていた時期がありました。インコが卵を孵化させ、子供インコが誕生したときもありました。あの感動は忘れられません。そして、手のひらで寿命がつきていった命の記憶も忘れることはありません。

今現在、二羽の文鳥が玄関先で元よく声を出しては、仕事に行く家族たちを送り出してくれています。その声を聞くと、何故か元気が湧いてくる私です。今では鳥たちは、我が家に欠かせない、家族の一員なのです。





# ラフォーレさくら



平成24年10月より社会福祉法人ひかりの仲間となった「ラフォーレさくら」をご紹介します♪

Q. いつ誕生したのですか？

A. 平成13年に地域作業所として誕生しました。

Q. 所在地はどこですか？

A. 横浜市南区にある3階建てのビルの2階です。



Q. 名前の由来は？

A. ビルの名前の「ラフォーレ」に「桜咲く」という意味をこめて「さくら」を組み合わせました。

※編集部注：ラフォーレ (La Foret) = 森 の意味です (フランス語)



Q. 利用者は何名ですか？

A. 17名です。日々、10～13名の方が通所されています。年齢層は20代～60代と幅広いですが、みんな仲が良く、とても賑やかです☆

Q. 職員は何名ですか？

A. 男性職員が1名、女性職員が2名の計3名です。

Q. 活動内容を教えてください。

A. 機織りや下請作業の他、食事会、日帰り旅行など余暇活動のプログラムも満載です。

Q. 活動時間を教えてください。

A. 平日の9:30～15:30に活動しています。

Q. イチオシの自主製品はなんですか？

A. 自立生活アシスタントさんモデルの羊毛ストラップです！！  
オヤジ仕様？！のコインパースや機織り製品もイチオシです (笑)  
お好きな反物を使い、各種オーダーも承りますので、ぜひ！さくらに足を運んでみて下さい。



地域活動支援センター

ラフォーレさくら



〒232-0055 横浜市南区中島町2-47-3

TEL 045-710-7355

FAX 045-710-7353

ブログも更新中♪

<http://blog.goo.ne.jp/lafore-sakura>

◆◆◆ 一言メッセージ◆◆◆

さくらのモットーは、明るく♪楽しく♪です！  
メンバーさん達の笑顔をひかり利用者さんと交流しながらお届けしたいと思っています♥♥♥

# ☆新人職員紹介☆



橋本 薫  
5月3日生

座右の銘：誠心誠意

橋本さんってどんな人？ ～Let's Interview～

- ◇いつでも落ち着いているように見える、安心感のある方だなあとと思います。(同僚Sさん)
- ◇柔らかな雰囲気と度胸と行動力を持ち合わせた頼れる存在です！！(同僚Mさん)
- ◇動物に例えると…「カピバラ」ほんわか優しい雰囲気と芯の強そうなイメージです。(先輩Mさん)

「I was so much older then, I'm younger than that now」

施設長 宮坂 俊彦

先日、卒業以来20数年ぶりに、出身高校を訪ねる機会があった。駅から学校まで、徒歩で10数分の道中、町の様子はすっかり変わっていた。友人と多くの時間を過ごしたボウリング場はマンションに、毎日のように行っていたレコード店(!)はマクドナルドになっていた。

町が変わっていくのは珍しい話ではないが、若い頃とは随分違う印象を受けるようになった。それは、身近な人の死に接する時も同様で、以前は「自分が知っている人」がいなくなる喪失感であったのが、今は「自分のことを知っている人」がいなくなる欠落感、あたかも自分の中の一部分がなくなってしまう感じだ。

人は、他者や社会との関わりを通じて『人間として』成長し、過去から現在、そして未来に至る時間の中で『自分らしさ』を獲得する。関係の広がりや時間のつながり、その交差するところに今の自分が存在する。

だが、自分を取り巻く世界と時間は、広がり続けるわけではない。それらは、(個人差はあれど)ある時点を境に収縮に転じる。時間とともに失われる、町、もの、人、記憶。もしかすると、同時に『自分らしさ』も少しずつ失っているのかもしれない。

『自分らしく』在り続けるために、新しいことに対していつも開かれていたい。新しい『自分らしさ』を発見できるかもしれないから。年令とともに積み重なる経験や分別はもちろん大切だが、時に、新しいものとの出会いを妨げる。それを補うために必要なのは、何歳になっても、好奇心と想像力だと思っている。

## 編集後記

春るるる～♪やっとあったかくなってきました！が、何やら喉がイガイガ、鼻がムズムズ。こ、これは…まさか…(\*\_\*)  
まずはマスク購入してみます。

(わか)

私生活で身体を痛めることが続いたので、厄落としも兼ねて髪の毛をカット！気分転換にもなりました。運動不足な日常ともお別れしなくては…。(もりもり)

発行者

# 東戸塚地域活動ホームひかり

広報担当

若杉・森川

〒244-0805

横浜市戸塚区川上町4-9

TEL : 045-828-2820

FAX : 045-825-3199

✉ : sp7r6499@star.ocn.ne.jp

HP : <http://www.y-hikari.jp>

